

大沢地区に祭囃子鳴り響く 魚賀波間神社神幸祭を開催

強い日差しが降り注ぐ夏。お囃子の中をみこしが練り歩きました——8月7日、魚賀波間神社（上澤富士夫宮司）の神幸祭が大沢地区において執り行われました。震災後復活し、ことしで4回目の開催となります。みこしは魚賀波間神社を出発し大沢漁協へ。漁協では、大澤大神楽、大沢虎舞、山谷獅子踊りによる舞が披露され、詰め掛けた大勢の住民からは拍手が巻き起こりました。その後は、地区中心部や仮設住宅を練り歩き、地区内を祭りのお囃子で彩りました。



きれいな桜咲かせるために 「復興さくらの丘」を草刈り

7月30日、船越家族旅行村オートキャンプ場でさくらの苗木周辺の草刈りが実施されました。これは、4月に開催されたさくらまつりで「復興さくらの丘」に植えられた桜の苗木を守るために行われたもので、町内外から55人が参加。草刈りで汗を流しました。その後はおにぎりとホタテが振る舞われ、参加者らは舌鼓を打っていました。北上市から訪れた参加者は「ことし自分が植樹した苗木の成長を見ることができました。いつかきれいな花を咲かせてほしいです」と笑顔で話してくれました。

爽やかな山田の夏を満喫

船艇配備式・山田パドルフェス

7月28日、B & G海洋センター艇庫でB & G財団による船艇器材の配備式が行われました。今回、艇庫に配備されたものはヨット2艇、カヌー8艇、ライフジャケット50着、バナナボート1艇などで、海洋性スポーツを学ぶ「海洋教室」の際に使われます。また、配備式後には、震災以降休止していた南部町の子どもたちと本町の子どもたちとの交流会が行われ、配備されたばかりのカヌーやバナナボートを体験。最後は、山田湾を望みながらのバーベキューで交流会を締めくくりました。



真夏日となった7月31日、浦の浜海岸で「山田パドルフェス」が行われました。これは、町の体験型観光のひとつであるシーカヤックへの興味を持ってもらうために行われたもので、同フェスではシーカヤックとSUP（スタンドアップパドルボード）の無料体験試乗会やシーカヤックリレーが行われました。試乗会には106名が参加。視線が海面に近くなるシーカヤック独特の臨場感を楽しんで参加者は、ゆったりとした時間の中、気持ちよさそうな表情で山田の夏を存分に味わっていました。



町のわだい

今月の題字 伊山 ^{ももか}百華さん (大浦小3年)



第10回やまだの花火大会 町民が上げた希望の大輪

8月14日、山田町商工会青年部（間瀬^{けいぞう}慶蔵部長）主催の第10回やまだの花火大会が開催されました。晴天に恵まれたこの日、山田魚市場隣接の特設会場には屋台が立ち並び、ステージではミュージシャンなどによるイベントが行われ、多くの人が集まりました。午後7時過ぎからはメインイベントである花火の打ち上げが開始。音楽に合わせて多くの花火が咲き誇りました。町民からの募金で成り立ち、町民一人ひとりが携わる花火大会もこととして10回目。花火が終わると、会場は大きな拍手で包まれ、花火大会は大成功で幕を閉じました。



山田高校の2年生が職場体験 実際に働いて進路を考える

8月1日から5日にかけて、山田高校（佐野^{しげき}茂樹校長）の2年生47人が職場体験を行いました。これは実際に働くことを通して、進路選択に役立てようといわれたものです。生徒らは、町内外29カ所の事業所の協力の下、希望した職場を訪問しました。道の駅やまだでは、2人の生徒が仕分け作業とレジ打ちを体験。福土^{あみ}亜美さんは「初めてで不安だったけど職員の方が教えてくれて安心して作業ができました」と笑顔で話しました。

※この記事と写真は、町総務課へ職場体験に訪れた尾形^{さとみ}聡美さんが取材し、作成したものです。